



題字は松井岳洋

No. 417
平成 25 年 1 月

発行
(公社)日本詩吟学院 認可

碩心会

発行者 内山岳青
編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28
Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>



年頭のご挨拶
会長 内山 岳青

新春お慶び申し上げます。

昨年は創立75周年記念大会を盛会裡に行うことができました。歴史ある碩心会が今後とも活力を持ち続けて行くためには『吟力のレベルアップと会員数の増加』が何より大事なことだと改めて痛感しております。

「之を知る者は之を好む者に如かず。之を好む者は之を楽しむ者に如かず」という言葉が論語にあります。『何かを知っている人もそれが好きな人にはかなわない。好きだという人も、それを心から楽しんでる人にはかなわない。』と云う意味でしょう。会員一人ひとりの方が詩吟を心から楽しむことにより吟力もレベルアップし、会員数も自ずから増加して行くのではないのでしょうか。

詩吟が好きで楽しいから練習を重ね、これ

まで出なかつた声が出るようになり、難しかった節調ができるようになる、詩文を調べて新しいことを知る、そのことがまた楽しい。こういった好循環にしたいものです。

また趣味としての詩吟の良さ、楽しさを友人・知人に語り、言葉だけでなく吟ずる姿を見て頂くことが「私も詩吟をやってみようか」という気になるのだと思います。

新しい会員が入ってくることは間違いない。先輩会員の吟力アップにもつながります。

碩心会全体としては指導方法の検討、年間の行事のマンネリ化防止、「レッツ詩吟」のあり方、吟歴の新しい方に活動の場を積極的に提供する等の課題があります。

この一年、詩吟をやっていればこそ味わえる詩歌の奥深さ、感動を皆様と共に楽しんで参りたいと思います。

新年に当り役員及び会員皆様のご協力をお願いし、ご挨拶いたします。



行事予定

詩吟体験教室 たつしぎん
Let's SHIGIN!

日時 2月16日(土) 午後1時～2時30分

3月16日(土) 午後1時～2時30分

4月20日(土) 午後1時～2時30分

場所 葉山町立図書館ホール

第1回尚歯会全国吟道大会

日時 3月24日(日)

場所 日本教育会館

碩心会春季昇任段審査会

日時 3月30日(土)

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

神静地区吟詠大会

日時 5月19日(日)

場所 小田原市民会館

第3回神静地区師範吟詠大会

日時 6月2日(日)

場所 三島市民文化会館

第22回青少年吟詠大会

日時 6月9日(日)

場所 港南公会堂

第33回碩心会吟詠温習会

日時 6月23日(日)

場所 葉山町福祉文化会館

平成25年 初吟会

平成 25年 1月 12日(土)
於 葉山町福祉文化会館



挨拶する内山会長



花は咲き、ポケない小唄 滝の坂・唐木山支部



ソーラン節 真澄支部



富士山 平松支部



兵法百科 渚支部



おてもやん 真澄支部



富士 渚・晴普支部



安来節 相洋支部

華やかに「初吟会」

昨年、創立75周年の記念大会を盛會裡に終えた碩心会は年が改まり心新たに76年目を迎えた。内山会長の年頭挨拶は「今年の目標は会員の増加と吟力のレベルアップ。また同時に何よりも吟を楽しむことが大切で楽しいから練習する相関が吟技向上の要諦。指導者、会員が一体となって練習に励み、重ねた歴史に恥じない吟力を発揚していただきたい」と強調。式典次第の各支部合吟では日頃研鑽の成果を披露、続いて役員・指導者の方々の吟・舞は祝賀に光彩を添えた。

懇親会―各支部の皆さんが趣向を凝らした演目は百花繚乱、笑いの絶えない余興に酔う風景は笑門来福―話が弾み、酒がすすむ。

今年の干支は癸巳、イメージは脱皮、これは「吟を磨く」ことかも知れない。常盤

平成24年度功労者表彰 (平成24年11月14日付)

功労者の部 高橋岳之
寿90歳の部 水上岳昌

昇伝段位認許

(平成25年1月1日付)

皆伝 1名 102大野祥岳
総伝 1名 57福本岳香

札幌全国大会に参加

― 昨年一年間の思いに寄せて ―

副会長(兼)普及部長 上村 岳 章

昨年は碩心会75周年大会を皮切りに神静地区大会、神奈川連合吟詠大会それに札幌の全国大会と近年に無い独吟の機会に恵まれました。特に昨年の締めとしての札幌全国大会には、神静地区の代表として相州岳風連合碩心会に白羽の矢が立ちました。本来であれば内山会長の出吟で収まるところ、次の機会がいつ来るか(多分20年は来ないのでは)にも関わらず私に譲っていただき計らずも独吟の栄を賜りました。

独り座す千歳に向かう窓の外

朝日に光る沖の白浪

相州連合の札幌まで旅費宿泊費の支援を頂き行ってまいりました。

御陰様で大会には総本部より当日役員のお手伝いの要請を頂き前日の仕込から大会終了後の打ち上げまでお付き合いが出来、大変に素晴らしい大会となりました。

独吟の緊張感にも何とか私の吟が出来ました。その姿を12月号の『吟道』に載せていただき吟友の皆様から声を掛けていただき重ねての感動となりました。

皆様に応援して頂き有り難うございました。

準師範を受審して

篁風支部 高見陽 岳

詩吟を始めて24年、自分の事ながら良く続いたものと感心しています。詩吟は吟ずる程奥深く「詩の心を音に表わす」そんな指導を受けながら練習してきました。3年前、十段の審査を受け、ほっとしたものの、何か心の隅にぽっかり穴があいた様な気持でおりました。何か目的を持たなければと感じはじめ、準師範に挑戦しようと思ったのが動機です。少しづつ、練習を始めたものゝ、自己嫌悪に陥り「吟は練習すれば出来るが、指導となると」と悩みました。先生の厳しい指導、特に声は腹から、詩の情感を……と厳しい指導を受け何とか審査を受けるまでになりました。吟はまだく、未熟ですが、会員の皆さんと楽しみながら研鑽してゆきたいと思っています。心身共に健康でなければ良い吟は出来ないと思っています。

碩心会の役員の皆様、諸先輩、指導してくれた先生、故松井岳篁先生、篁風支部の皆様感謝しながら、健康に気を付けて、細く長く吟を楽しみ、そして出来れば教室を持つ夢を忘れず頑張っていきたいと思っております。今後共よろしくお願い致します。有難うございました。

普及部との出会いと活動

東伏見支部 根岸和風

エッ!! 普及部? 私は只々教室に行つて吟を教わるだけで、上村先生に普及部の「副部長を受けてくれないか?」と言われた時、ビックリ、当然どんな仕事をするのかも判らず「私でいいんですか?」と問うだけでした。会員も減少している中で、これは大変な仕事だと思いました。

上村先生に大卒の行事を打出して頂き、会場取りから教室での細かい仕事、3人の副部長で手分けし協力する事から始まった。「レッツ詩吟」「吟行会」それには下見もしなければ、と次々仕事が見えてきて大変でした。レッツ詩吟の時は盛上げ支部として、渚支部、真澄支部にご協力頂きまして有り難うございました。

吟行会は10月17日(木)、逗子駅より葉桜バス停迄10分弱、終点より団地の中を5分位歩いて山の入口、そこからは山歩きです。まだ工事中でした。小高くなった所が長柄桜山古墳群の地で、逗子市と葉山町の境に跨がって出来ており、平成11年3月に、地元の考古学愛好家によってオ一号墳が発見された。平成14年に国史跡の指定を受け、平成22年度より整備基本計画が策定され、現在も遊歩道の工事

中であつた。オ二号墳も20〜30m離れた所にあり、相模湾の見える良い風景でした。その広場で「富士山」「青葉の笛」「自然と人生」を合吟し下山の途中、蘆花会館のお庭で昼食をし、蘆花の碑迄下りて来ました。道は葉山と逗子を結ぶ海岸通りでした。そこから1,000m位国道に向つて歩き、右手に入った所に六代御前の碑があり、上村先生より感銘深い説明を受け拝みました。解散は午後2時頃でした。

事故もなく楽しく終了でき、皆様のお陰と感謝申し上げます。有り難うございました。

平成24年度 吟詠と詩舞の集い 会計報告

	科目	金額(円)	摘要
収入の部	大会補助金	60,000	本会計より受入
	出吟料	161,000	1,000円×161名
	懇親会	113,000	1,000円×113名
	合計	334,000	
支出の部	会場費	31,970	ホール、大会議室、その他
	弁当代	126,085	弁当、お茶
	飲食費	100,463	飲み物、オードブル、その他
	会議費	5,608	準備諸会議経費
	傷害保険	3,000	
	作製費	1,680	在来看板(紙)補修用品
	制作費	12,230	プログラム250部、ポスター100枚
	謝礼費	15,000	書、太極拳(3名)
	雑費	8,226	
	次期繰越	29,738	本会計へ返戻
	合計	334,000	

会員のうごき

*退会

- 109 伊藤泰風(一色)
- 121 岩田義風(吟秀)
- 188 郷原美貴子(相洋)死亡

*新支部長(酔吟支部)

- 137 鈴木康山

*会員名簿訂正のお願い

- 29 白井岳照
釜利谷東2-12-363 → (正)2-18-363
- 153 加藤名山 → (正)加藤茗山

*新住所、電話番号

- 176 馬場香泉
葉山町堀内1991-2-102
TEL.046-802-8218

編集後記

新政権が誕生しその先行きが注目されています。碩心会も新年を迎え昨年より会員の増加、吟力の向上が言われています。漢詩への理解、詠ずる事の楽しさ素晴らしさを認識し、これを多くの方に伝えていく事も大切だと思います。一歩でも目標に近付くよう一人一人が努力しましょう。

広報部

25年1月1日現在	会員数
葉山地区	82名
逗子地区	123名
合計	205名